

第3回 加古川市教育振興基本計画 検討委員会 開催の概要について

1 日 時

令和6年10月23日(水) 15時から16時50分まで

2 議 事

- (1) 第2回検討委員会開催の概要について
- (2) かがわこどもアンケート結果について
- (3) 第4期計画の素案について

3 素案に対する委員からの主な意見

- ・ これからも学校運営協議会において学校・地域・保護者が協働していくためには、PTA活動を継続することが欠かせない。PTA活動を今の時代にあった在り方に見直し、保護者の負担を軽減しつつ児童生徒のための組織としての機能を継続する取組が必要である。
- ・ 学校運営協議会に児童生徒が参画する取組が進められることに期待している。
- ・ こどもアンケートに関しては、学年や校種に合わせた設問にすることでより素直な児童生徒の意見が集約できるのではないかと感じた。検証を進め今後の取組に活かしてもらいたい。
- ・ 第4期の計画では現行の計画内の評価指標と比較し、より現実的な目標値が設定されているので誤解のないよう指標の文章を工夫する必要がある。
- ・ こどもたちの放課後の生活の場として、放課後等デイサービス等は大きな支えとなっているため、教育ビジョンに盛り込むことはできないか。
- ・ 計画書内の「きょうどう(協同・協働)」という言葉は、文章に合わせて見直す必要があるのではないか。
- ・ 採用試験の倍率や新規採用される教員の資質能力を一定水準維持してもらいたい。
- ・ 基本方針1の「具体的な取組④」の“態度の育成”という言葉が一般的でないように感じた。
- ・ 「個別最適な学び」について、“学習の困難度”はICTで測りやすいが、“学習の個性化”の観点において、どの程度個々の学習内容を個別的なものとしていくのか。
- ・ 情報モラルに関しては、学校と各家庭でもギャップがあるし、家庭間でもギャップがあるということを前提に取組を考えていく必要がある。
- ・ 基本方針3の「現状」の文章中には中学校給食のみ記載されているので、小学校給食にも触れる必要はないか。

- ・ 基本方針5の「具体的な取組②」について、子どもたちが来館しやすくなるような取組として公民館で子ども食堂を展開できないか。
- ・ 基本方針6の「課題」の文章中“アウトティング”という言葉は、用語解説が必要ではないか。
- ・ 基本方針6の「具体的な取組④心ふるえる体験活動の充実」の“心ふるえる”という感動を想起させる言葉と取組内の“障がい者福祉や高齢者福祉”との関係に違和感を持つ方々がいるのではないか。
- ・ 基本方針6の「具体的な取組⑤」の“自己肯定感を高める”という記載について、昨今、自己肯定感を高めたり維持するために、周囲に対して無頓着な人が存在する現状から、「単に高いことが良いことなのか。」といった議論がある。このため、計画内での表現として、自己肯定感の前に“健全な”という言葉をつけ加えてもらいたい。
- ・ 基本方針11の「具体的な取組②保護者として成長する学びの推進」の取組について、“保護者としての成長”はどの世代の子どもを持つ保護者にも求められること。就学前に関する記述が多いのでバランスを調整する必要があると考える。